

杭頭補強溶接工事



【フレア溶接施工状況】

? 杭頭補強溶接工事とは

杭頭部とフーチングなどの基礎コンクリートとの融合方法のひとつで、鋼管杭、SC 杭の外周に補強鉄筋（異形棒鋼）を溶接する工法です。

従来からマンション、橋脚、浄水場、学校、商用ビルなど様々な現場で用いられている施工方法です。

- ・フレア溶接
- ・ジョイントカップラ
- ・クラウンパイル
- ・NewJ-Bar

の施工を承っております。



【ジョイントカップラ溶接施工状況】



【クラウンパイル溶接施工状況】

NewJ-Bar については裏面へ→

開先付き異形棒鋼

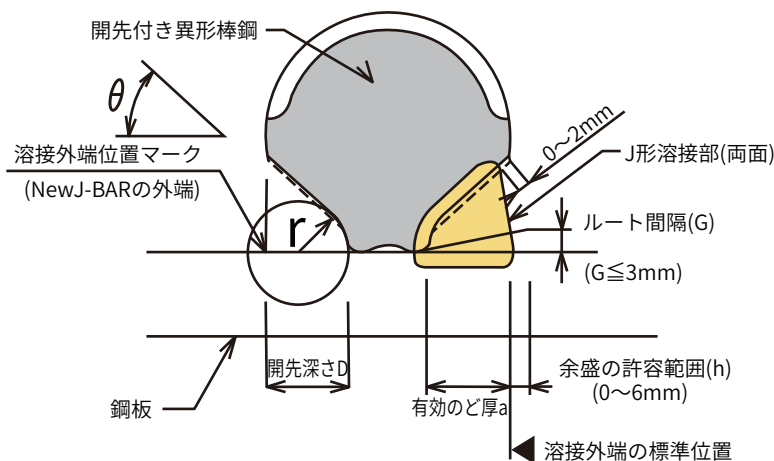
NewJ-Bar

国土交通大臣認定(国住指第31-1号)
認定番号MSRB-0029



? NewJ-Bar とは

開先付き異形棒鋼 NewJ-BAR は、健全な溶接のために JSSC（日本鋼構造協会）の規格に適合した J 形開先を成型・溶接構造用鋼材と同等の成分調整をした異形棒鋼（杭頭補強筋）です。



NewJ-Bar の特徴

- ・ J型開先と化学成分調整により溶接欠陥が抑制され、健全で信頼性の高い溶接部を形成できます。
- ・ 有効のど厚を NewJ-Bar 外端を基準に測定できるため、確実な溶接管理が可能になります。
- ・ 溶着金属量の低減を可能にするため 溶接費が低減でき、溶接工期の短縮が可能です。
- ・ 太径・高強度の NewJ-Bar の使用が可能になり杭頭補強材の本数が大幅に縮減し、溶接工期の大幅な短縮がなされコストの低減に寄与します。

溶接長表			
杭の鋼材材質		400N/mm ² 級	490N/mm ² 級
NewJ-Bar			
WSD390	WD32J	140mm以上	140mm以上
	WD35J	160mm以上	160mm以上
	WD38J		
WSD490	WD32J	180mm以上	150mm以上
	WD35J	200mm以上	180mm以上
	WD38J		
	WD41J	220以上	190mm以上

製品長表			
杭の鋼材材質		400N/mm ² 級	490N/mm ² 級
NewJ-Bar			
WSD390	WD32J	1280(35d)	1280(35d)
	WD35J	1410(35d)	1410(35d)
	WD38J	1510(35d)	1510(35d)
WSD490	WD32J	1550(42d)	1520(42d)
	WD35J	1690(42d)	1670(42d)
	WD38J	1820(42d)	1800(42d)
	WD41J	1970(42d)	1940(42d)